

3本の竹

大正中だより第9号
2019・10/30

第1回 大正中学校、大正小学校PTA役員意見交換会

＜10月24日（木）開催＞の報告

PTA会長 石口嘉美

秋雨の候、学校関係者の皆様、PTA会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は学校教育に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度10月24日「第1回 大正中学校、大正小学校 意見交換会」を開催させていただきました。参加いただきました、中学校PTA役員の皆様、小学校PTA役員の皆様ご苦勞様でした。

この意見交換会を開催するにあたりまして、今年度大正中学校PTA会長を仰せつかった時から、頭の隅で思い描いていました。

大正中学におきましては、学力向上の取り組みとして、昨年度（2018年）より、大正中「学び力」育成委員会を設置し、子ども達に指導する「教師の姿勢」や「教師の質」についても向上を目的とした取り組みを行ってまいりました。また、それと同時に、地域と家庭にも参加いただき、「学校」「地域」「家庭」の3方向から「子ども達の学力向上」を目指そうという取り組みも行っていました。

大正中「学び力」育成委員会は2019年度より大正中学がコミュニティースクールの認定を受けたことから現在の名称は「学校運営協議会」と名を改め正式な事業となっております。また、「学校運営協議会」も含め、もっと幅広く活動し、子ども達を一つの「学力の樹」と捉え、「学校」「地域」「家庭」の三者で「大きな学力の樹」に育てようという取り組みが、今年度（2019年）より「3本の竹事業」と命名し、本格的に始動いたしました。

昨年度より、私も地域の一員として、学校の先生方や地域の教育関係者の方、また小学校、中学校の父兄の方とお話をさせて頂く機会が多くあり、やはり皆さん方の共通の思いとしては、大正地区は他の地区や他市に比べ学力が低いと感じておられる方が大半でした。

そのようなことから、大正小学校PTA会長の武村さんとも、市P総会の後、何度となく話をさせて頂き、「子ども達の学力向上」に取り組むために我々父兄に何かできることはないか。との考えに至りました。

その為には、小学校、中学校のコミュニケーションの場を設置し、お互いが客観的に見て、意見を言い合える環境を整える必要がある。との認識のもとから、今回ようやく「第1回 大正中学校、大正小学校 意見交換会」を開催させていただくことができました。

中学校、小学校ともに初めての試みということで、不安もありましたが、闊達な意見交換を行うことができました。

今回第1回目ということもあり、あらかじめ意見を言っていただく議題として、

- ①「小学校、中学校の良い所。悪い所」
- ②「中学校に入って思うこと」
- ③「中学校から見た小学校」
- ④「小学校から見た中学校」

の4つの議題を作り、それぞれ思うところを意見として挙げていただきました。

その他にも、参加者各位が疑問に思うことや、困っていることなどの意見を多数出していただき、今、保護者の皆さんが直面している「生の声」を多数聞くことができました。中学校、小学校を問わず、皆さん同じような悩みをお持ちで、共感することばかりでした。

皆さんの共通の思いとしては、家庭学習は大事との認識はあるが、子どもが言うことを聞かずに困っている。との意見が多くありました。今は昔とは違い、現在の家庭事情は共働きの家庭が多く、家庭学習や家庭での躰は重要であることはわかっているが、実際目が届かず困っているという現状も垣間見ることができたように思います。このような貴重な「生の声」を今後、「地域」として「学校」として共に取り組んでいくべき課題と受け止めています。意見交換会も終盤を迎え、次回開催について皆様方の意見を聞かせていただきましたが、今後も継続して続けていくこととなりました。

第2回 大正中学校、大正小学校 意見交換会は11月19日（火） 19:30より大正小学校会議室にて開催予定です。次回は今回の意見をもとに、中学校の先生、小学校の先生を交え、解決するための方法を探ります。

PTA役員の皆様今後もできる限り出席していただき、闊達な意見交換ができますようお願いいたします。